

すーっと心の深呼吸。いざ、庄内。 山形庄内夏の観光キャンペーン(令和8年7月1日から9月30日)

県と鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町、戸沢村の6市町村エリアとJR東日本が連携し、「自然風土・精神文化・食が織りなす 山形庄内 癒しの旅」をテーマとした観光キャンペーンを開催しています。7月4日には、団体臨時列車「音旅×海里」の到着に合わせオープニングセレモニーを実施しました。

9月末まで多彩な特別企画をご用意しています。ぜひ庄内の豊かな魅力を体感しにお越しください。



すーっと心の深呼吸。
いざ、庄内。

来年4月から男女共学へ～山形県立米沢短期大学に！～ 県立米沢女子短期大学オープンキャンパス(令和8年7月25日、26日 米沢市)

県立米沢女子短期大学のオープンキャンパスを開催し、高校生・保護者など、たくさんの方に参加いただきました。来年度から男女共学となることから、男子生徒の姿も見られました。

来年度からは、大学名を「県立米沢短期大学」に変更するほか、学科を超えて学べるサブコース制の導入や、地域で学ぶカリキュラムの拡充などを通して、より一層、学生に選ばれる大学となるよう、バージョンアップしていきます。



令和10年度前期のNHK連続テレビ小説に、上山市出身の歌人・医師である斎藤茂吉とその妻・輝子をモデルとした作品「ほんのモキチ」の制作が決定しました！

茂吉は日本近代短歌を代表する歌人で、ふるさと山形を深く愛し、蔵王連峰や最上川などを多くの歌に詠み込みました。なかでも「陸奥をふたわけざまに響えたまふ蔵王の山の雲の中に立つ」は、蔵王の雄大さを詠んだ、私の大好きな歌です。

歌人・茂吉の功績は現在も高く評価されており、県では「斎藤茂吉文化賞」などを設け、その偉業や志を今日に伝えていきます。県内外に数多くの歌碑が建立されるなど、全国の方々から今なお敬愛されています。

また、妻の輝子は、89歳で生涯を閉じるまで、旅した国は108か国、79歳で南極に、80歳でエベレストを訪れたスーパードライマンです。朝ドラ「史上「最も不仲な夫婦」の物語として描かれるということ、少し心配もありますが、放送が楽しみです！

このドラマを通して、多くの皆さまに茂吉の人生や作品はもとより、その原点となつた本県の歴史や文化、美しい景観にも関心を持っていただけたら嬉しいですね。この勢いで、初代山形藩主・最上義光を主人公とした大河ドラマも実現したら最高ですね！



山形県知事 吉村美栄子



郷土の偉人が朝ドラに登場！
「ほんのモキチ」制作決定！

県産さくらんぼ、3年ぶりに1万トン台を見込む 「東京・大阪でのさくらんぼトップセールス」(令和8年6月6日 東京都内ほか)

今年のさくらんぼの収穫量は、関係者一丸となって取り組んだ結実対策が実を結び、3年ぶりに1万トン台となる見込みです。吉村知事は、6月6日に東京都の大田市場と銀座三越で、6月12日には大阪中央卸売市場でトップセールスを実施しました。会場では、大粒で食味に優れた新品種「やまがた紅王」を合計500名に配布し、PRに取り組みしました。今後も生産者や関係団体と一丸となり、県産農林水産物の認知度向上と消費拡大に取り組んでまいります。



樹氷復活を目指して～蔵王でのオオシラビソの種まき～ 『樹氷復活県民会議』第2回技術検討ワーキングチーム(令和8年6月15日 山形市・上山市)

本県の冬のシンボルである「樹氷」の復活に向け、このたび、蔵王にある県のは場において、山形市立東沢小学校3年生の皆さんと、県や山形市、上山市、観光関係団体などで構成する「樹氷復活県民会議」によるオオシラビソの種まきを行いました。移植ができる稚樹に育つには6年以上の歳月がかかります。息の長い取組みですが、美しい景観の復活のため、引き続きオオシラビソ林再生への取組みを着実に進めていきます。



未来の土木エンジニアへ、現場から学ぶ 高校生を対象とした建設工事現場見学会(令和8年6月19日 南陽市ほか)

県が発注した吉野川河川整備工事および国道287号米沢川西バイパス道路改良工事の現場において、米沢鶴城高等学校1年生の皆さんに工事内容を説明した後、ドローン操作など最新のICT技術を体験していただきました。

建設業は、道路や河川などの社会資本の整備や維持管理だけでなく、災害時の応急対応など、地域の暮らしや安全・安心を支えています。多くの若者に建設業の魅力をお届けできるよう、引き続き発信に取り組んでまいります。

